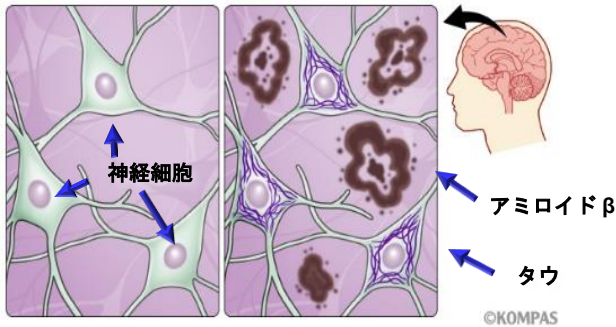


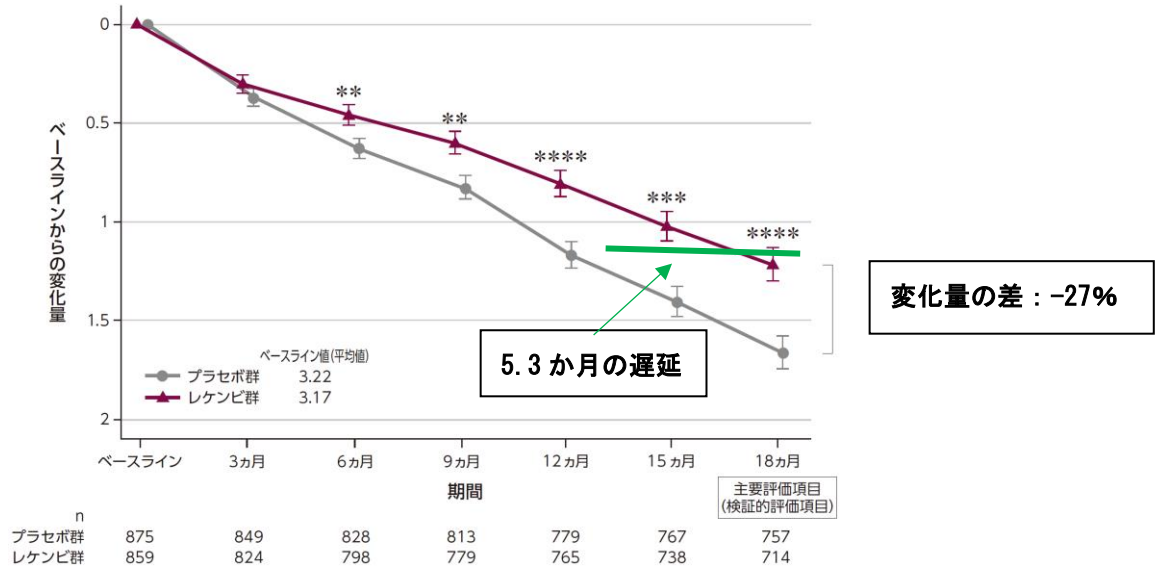
レカネマブ(レケンビ®)を希望する患者さんへ

レカネマブ(レケンビ®)について



アルツハイマー病の主な原因はアミロイドβが脳内に蓄積するためと考えられています。レカネマブは、このアミロイドβの蓄積を除去する薬剤です。レカネマブの投与により、日常生活の質[臨床的認知症尺度(Clinical Dementia Rating: CDR)]の低下が27%抑制されます。

日常生活の質(臨床的認知症尺度)の変化



(出典:レカネマブ適正使用ガイド)

レカネマブを投与する前に

- 早期のアルツハイマー病(軽度認知障害および軽度の認知症)の患者さんが適応です。
- 進行した認知症の患者さんには適応がありません。
- レカネマブを投与するには、アミロイドPETもしくは腰椎穿刺のどちらかでアミロイドの異常を確認しなくてはなりません。
- アミロイドPET:放射性物質を静脈注射して、CT撮影により脳内のアミロイドを画像化します。
- 腰椎穿刺:背中に針を刺して脳脊髄液を採取し、アミロイドを測定します。当院では半日入院が必要です。

効果について

- 18ヶ月の投与で日常生活の質(CDR)の低下が27%抑制されます。18ヶ月の投与で5.3ヶ月の進行抑制に相当します。

投与方法について

- 2週間に1回の点滴(1時間)を当院にて行います。
- 18ヶ月間投与して、認知機能の進行度を評価して投与を継続するかを検討します。

レカネマブの主な副作用

- 主な副作用は、脳浮腫、脳出血です。症状は、主にめまい、ふらつき、頭痛、異常言動です。
- 多くは症状の伴わない軽いものですが、約3.2%に症状を伴う副作用が報告されています。
- 18ヵ月を超えた継続投与の治験期間中に、0.3%(3/898人)が、レカネマブ関連の脳出血で死亡しています。

費用

- 保険3割負担の場合、体重50kgの方で約90万円/年の自己負担がかかります。

2024年3月20日

文責:慶應義塾大学病院 メモリーセンター 伊東大介

